

1. 件名：高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置計画に係る面談

2. 日時：令和3年10月18日(月)15時00分～16時15分

3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※TV会議にて実施

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

北條主任技術研究調査官、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐

加藤原子力規制専門員

敦賀原子力規制事務所

山中原子力運転検査官、池谷原子力運転検査官

文部科学省

原子力課 核燃料サイクル室

横井核燃料サイクル推進調整官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

敦賀廃止措置実証本部 本部長 他6名

高速増殖原型炉もんじゅ 廃止措置計画課長

5. 要旨

○国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、配付資料に基づきもんじゅの廃止措置第2段階以降の廃止措置計画の検討状況について説明を受けた。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

（資料1について）

・しゃへい体等の取出しにおける原子炉容器内のナトリウムのSsL運用について、過去に実機において燃料交換装置をSsLで使用した実績があるのであれば、その旨を資料中に記載すること。

○原子力機構より、了承した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1：第39回監視チーム会合資料について